

台東区青少年育成

地区委員会だより

発行：台東区 区民部 子育て・若者支援課 〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6 電話 03-5246-1341

青少年育成各地区委員会の紹介

青少年育成各地区委員会の活動をより多くの方に知っていただくため、それぞれの地区委員会を紹介します。

施設訪問

竹町地区委員会

コロナ禍のため通常の行事は中止となりましたが、委員のみで昨年11月江東区北砂1-5-4「東京大空襲・戦災資料センター」を訪問しました。

昭和20年3月9日～10日東京大空襲の詳細資料・写真等々展示があり、実際に遭遇された方の凄絶なお話も聞くことができました。

竹町地区も甚大な被害を受けたこと、さまざまな犠牲のうえに今の平和があることを、子供たちに伝える必要が大人たちにあると思います。

これからも地域の子供たちに「大切なものとは何か」を伝えていきたいと思っています。



施設見学

地域の中で子供を育む

東上野地区委員会

東上野地区委員会では、例年8月に「ファミリー・レクリエーション（バスハイク）」、10月に「東上野地区大運動会」、2月には「ボウリング大会」の事業を開催しています。

コロナ感染状況が落ち着いた今年2月には3年ぶりとなる「ボウリング大会」を開催することができました。幅広い年齢層からたくさんの参加があり、競技だけでなく表彰式も大いに盛り上がりました。

引き続きこうした活動を通して、子供たちが地域の中で、元気にのびのびと成長していけるよう支援していきたいと思っています。



ボウリング大会

子供たちの喜ぶ姿のために

上野地区委員会

上野地区では、今年度は6月18日に【鴨川シーワールドを楽しもう】バスツアーを実施しました。

バスツアーは、上野地区の人気イベントで多数の応募がありました。残念ながら、バス2台の貸切の都合上、抽選となってしまいましたが、参加したご家族からは楽しかったとお声を多数いただきました。鴨川シーワールドは、シャチ、ベルーガ、イルカ、アシカの4つのパフォーマンスを観覧できるほか、水族館でもたくさんの魚を鑑賞しました。シャチのパフォーマンスでは水をかけられ、限られた時間の中で4つ全てのパフォーマンスを楽しまれたご家族もいたと聞いています。

また、夏休み初日には例年恒例の旧岩崎邸庭園の清掃と上野警察署員による夏休みの過ごし方の講話【早朝清掃とお話し会】も実施しました。

コロナも5類になり、少しずつ子供たちの活動の幅も広がってきております。今後もその手助けが出来ればと上野地区委員一同は考えています。

3年ぶりに「わいわい交流入谷っ子」を実施

入谷地区委員会

入谷地区委員会では、コロナ禍で3年間実施できなかった「わいわい交流入谷っ子」を昨年11月に浅草花やしきで行いました。当日は天気にも恵まれ、1,000人という多数の参加者を得ての交流事業となり、大いに楽しい1日を過ごしたところです。



わいわい交流入谷っ子

また、今年2月には、各町会の青少年活動の指導者育成事業として、横浜の三溪園及び三浦市三崎港での観光海中船の施設見学を、こちらも3年ぶりに実施しました。19名が参加し、三溪園の歴史的建造物や半潜水式の観光海中船を訪れ、大変実りのある見学会となりました。

今年度も、感染予防対策を適切に行い、各町会の青少年部の方々が中心となって有意義な活動を展開していきたいと思えます。

繋がりを深めよりよい地域を目指して

金杉地区委員会

台東区北部に位置する金杉地区は、1つの中学校と2つの小学校があり、常日頃からさまざまな交流が活発な地域です。

令和4年度は、8月に上野動物園の夜間延長営業に合わせ行う「真夏の夜の動物園」、そして10月に柏葉中学校の校庭をお借りし、柏葉中学校の生徒さんたちにもお手伝いに参加してもらい行う「金杉っ子まつり」の2つの事業を実施しました。「金杉っ子まつり」は、飲食ブースがほとんど無かったにも関わらず、コロナ前の例年を大幅に上回る来場者で賑わいました。

今年度は、すでに開催の決定している「青少年フェスティバル」に参加いたします。また、やはりコロナ前には例年霧ヶ峰学園を使用し行っていた「スキー教室」も、開催するため地区委員会で実施内容等の見直しを話し合っています。

令和5年度は5月に入り毎週のようにあちらこちらで祭囃子が聞こえ、子供たちの笑顔や笑い声が戻ってきています。

当地区委員会も、地域の子供たちとの繋がりをさまざまな事業の中で深め、よりよい地域を目指していきます。

活動再開に向けて

谷中地区委員会

大きな影響を社会にもたらしたコロナウイルス感染症もいよいよ収束に向かいつつあります。昨年度後半から、谷中地区委員会も徐々に従来の活動再開に向けて動き出しています。令和5年3月に開催した4年ぶりの親子スキースノボ教室は、宿泊事業にもかかわらず多くの方に参加いただき、子供たちの笑顔の中、無事終了することが出来ました。

当地区は各町会や様々な団体から選出された委員で構成されています。コロナ前は、親子マス釣りバスハイク・谷中まつり・青少年フェスティバル・ビーチボールバレー大会・親子スキースノボ教室など多くの事業を実施していました。今年度はこれらのすべての事業の実施をマストとして進めていきたいと思ひます。また、新しい事業への土台作りを委員全員で検討を重ね考えていきたいと思ひています。

地域の育成の活動もコロナによって良くも悪くも大きな変化を許容せざるを得ない状況になりました。特に体験から学ぶ機会はことごとく奪われてしまいました。谷中地区委員会は様々な事業を実施することによってこの大切な「場」を作っていきたいと思ひています。その為に地域の方々、学校関係の方々、様々な団体の方々のお力添えをいただき、より一層の努力をしまひります。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

地域で子供たちを育みたい

浅草橋地区委員会

子供たちもご家族も楽しめて、地域の想いを伝える行事にするためにはどうすればいいのか。いろんな想いをカタチにしたい浅草橋地区委員会です。

2020年にまん延した新型コロナウイルス感染症の影響で、身近であった多くの行事が中止になり、生活様式が変わってきました。これまでの間、様々な企画を検討したり、いろんな理由で白紙に戻したり、行ったり来たりを繰り返していました。

何もできない苦しい日々を送る中で、2022年11月にようやく1つの事業を行うことが出来ました。大人数が集まることを避けて参加できる謎解きラリーです。皆さんが街に出て、街を歩き、浅草橋地域をもっと知ってワクワクして欲しいという想いのもとで企画したものでした。期間内に謎解きを終えた方にはオリジナルトートバックを差し上げるなど、久しぶりに私たち委員も脳みそを働かせ、いろんなものを思い出すように楽しく企画していました。これまでにない企画で多くの反省点もありますが、新たな一歩として今後につなげていけるものと感じています。

今後も、新しいものを織り交ぜながら委員会は進んでいきますが、人は決して一人ではなく、人と人が関わって生活していることは変わりません。私たちは青少年育成という冠を掲げて活動していますが、子供たちから広がるご家族やご近所、地域のつながりを深められるよう活動していきたいと思ひています。

大切な子供たちのために

浅草寿地区委員会

浅草寿地区委員会では、「親子のふれあい」をテーマに活動しています。昨年11月には「親子ふれあい防災ウォークラリー」を開催しました。自宅からスタートし、自分たちの住んでいる地域の一時(いつか)集合場所へ、そこから避難所を経て、避難場所である上野公園までを、実際に家族で歩きながら、自分たちの避難経路を確認しました。

参加された皆さんからは、地震が起きた際、まずはじめに、どう行動するのか。また、避難場所へ向かう場合、どの道を通れば安全かなど、家族で防災について、考えるきっかけになったというご意見を伺いました。

これからの地区委員会では、引続き、家族や地域の方々とふれあいを深められるようなイベントを企画し、そして、委員も共に学びながら、子供たちに社会で生きていくための知識や知恵を伝えていければと思ひております。

どうぞ、皆さまの参加をお待ちしております。

子供も大人も笑顔で

雷門地区委員会

雷門地区では毎年、小学生を対象に「オリエンテーリング」と「楽しい年賀状作り教室」を開催しております。今年度も4年振りにはなりますが、10月と12月に開催予定です。地区内の小学校PTA、駒形中学校ボランティア部の協力をいただき、子供たちの歓声や笑顔を楽しみに準備に取りくみたいと思ひております。

これからも皆様のご協力を賜りながら、子供たちが健全に、そして笑顔あふれる活動を行ってまいりたいと思ひておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



年賀状作り教室

馬道地区大運動会

馬道地区委員会

馬道地区では、毎年10月に台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場にて「大運動会」を開催しています。

当運動会は、地域の町会青年部や小中学校のPTA、児童館等が協力して運営し、小さなお子さんからご高齢の方まで誰もが楽しめる一大イベントとなっています。

メイン競技である綱引きや、大玉送りなどの団体種目、短距離走などの個人種目に加え、○×クイズといった様々な競技があり、例年大盛り上がりとなっています。

今年は4年ぶりの開催となります。多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。



馬道地区大運動会

清川地区のモバイルスタンプラリー

清川地区委員会

清川地区では例年「親子バスレク」や、「わくわく南極教室」をはじめ様々なイベントを行っています。その中で、今回紹介するモバイルスタンプラリーは、令和3年度から行われ、10月の1ヵ月間でスマホを使い清川地区の指定されたスポットを巡りながら、謎を解くイベントです。令和4年度はハロウィンにちなんだおぼけのキャラクターや謎解きクイズを用意し、参加者は240名を超えました。今年度は、新たな取組として「ポッチャ」を体験できるイベントを企画し、地域の親睦を深めていただく予定です。今後も青少年健全育成のため委員一丸となり取り組んで参ります。

スタンプラリーチラシ表面

謎解きクイズ



子どもの権利条約とは

「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。18歳未満の児童（子ども）を権利をもつ主体と位置づけ、おとなと同様ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要な子どもならではの権利も定めています。

台東区では、子どもの自尊心を大切に、次代を担う子どもが安心して健やかに成長できる社会を目指し、様々な取り組みを実施していきます。

詳しくは（公財）日本ユニセフ協会のHPをご覧ください。

